

# 株式会社日経BP (プログラム実施地：岩手県陸前高田市)

## 事業名

ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちが取り組む障害者等の学びの場づくり

## 主な連携先

障害者就労継続支援事業所あすなるホーム、  
陸前高田市ユニバーサル就労支援センター

## 主な対象

知的障害者(あすなるホーム)、  
精神障害者(ユニバーサル就労支援センター)

## 事業の趣旨・目的

- ・SDGs未来都市が目指す、障害者等の学びの場のプログラム構築と実践
- ・講師には、地域に根差した持続可能なプログラムとするために、SDGsの普及・推進に取り組み、障害者の教育や就労に関わる地元の人材を起用
- ・社会課題の解決に向けた取り組みを通じて障害当事者が生きがいを感じ、笑顔を絶やさず生活できる学びの場を健常者も巻き込みながら実現する

## 事業実施体制



## 学習プログラムの内容

### あすなるホームを対象にした生涯学習プログラム

- ①ドミノを使ってピタゴラススイッチ(講師：田中大樹氏)計4回実施
- ②私もできるギター演奏(講師：石井優太氏)計4回実施
- ③気軽に合奏キーボード(講師：あすなるホームの戸羽氏)計3回実施
- ④絵葉書を描こう(講師：小松野麻実氏)1回実施
- ⑤スライドカーリングとバトミントン体験(講師：千葉氏、村上氏)1回実施
- ⑥ストレッチ・ウォーキングで健康づくり(講師：菊池氏、酒井氏)1回実施
- ⑦手話ダンス「翼をください」(講師：社会福祉協議会 佐藤事務局長)1回実施

### ユニバーサル就労支援センターを対象にした就労体験プログラム

- ⑧DIYでできる建物内装改修(講師：多田工房の多田繁喜氏)計2回実施
- ⑨PCを使った動画・写真編集講座(講師：トナリノの清水健太氏)計3回実施

## 研究の成果と課題

- ・協力団体が支援している障害当事者が延べ140人プログラムに参加
- ・共通の内容を教えるのではなく当事者それぞれの個性を活かして実現できる学びをサポートしていくことで楽しく学びをステップアップできる
- ・ユニバーサル就労支援センターで実施した就労体験プログラムの参加者に対してプログラム内容とは違った業務だが就労を打診する話があった
- ・上記の打診を通じて、就労ありき(求人側と求職者)ではない出会いが、結果的に就労につながるきっかけにもなることが分かった
- ・一般的に10代の時期を逃すと出会いの機会が極端に減ってしまうが、成人した後も学びの場をつくれれば当事者と社会とのつながりが創出できる
- ・就労ありきではない“学びの場”という柔軟な「人と人の出会い」が重要
- ・来年度以降も学びを提供するために地元拠点となる施設と人材を確保



①ドミノの様子



①②③音楽+ドミノの合同発表会



⑧漆喰塗りの様子

## その他研究の詳細など

- ・今年度はコロナ禍ということもあり、協力団体を増やすことや健常者との交流の積極的な推進は難しかったが、来年度はコロナの終息状況を見ながら、ユニバーサル就労支援センターを中心に、講師を務めてくれた地元の人材をネットワーク化し、当事者の学びの場を市民に公開する形で実施することを検討している。▶共生社会コンファレンスの様子(<https://youtu.be/Wdtbss0FVjo>)

